

# かわせみ



市立ひらかた病院ニュース

2017  
冬号  
VOL. 38

〒573-1013 枚方市禁野本町 2-14-1  
ホームページ <http://hirakatacity-hp.osaka.jp/>

Tel (072) 847-2821

Fax (072) 847-2825

## 新年明けましておめでとうございます



病院長 森田 眞照  
もりた しんしょう

平素より当院に対しまして、格別のご高配を賜りありがとうございます。

平成 26 年 9 月 22 日の新病院開院からお蔭様で 2 年を経過し、患者数も外来、入院ともに順調に増加しております。新病院では超高齢社会の到来とともに増加するがん治療に力を注げるように設備もいろいろ整えさせていただきました。これら施設面での充実とがん患者様の増加により、平成 28 年 4 月からは大阪府の地域がん診療拠点病院に指定されました。新しく始めました放射線治療も順調に患者数が増加しております。

また、新病院の最上階の 7 階に開設致しました緩和ケア病棟も全室個室での医療環境は患者様やご家族からも高い評価を得て、順調に運営させていただいております。

診断面では CT は 320 列と 64 列の 2 台を、MRI も 3 テスラと 1.5 テスラの 2 台を設置、また今まではなかったシンチグラムの検査も可能になり、より精度の高い診断が可能になりました。

さて、最近の日本の医療事情は団塊の世代が 75 歳になる 2025 年問題への対応に向けて大きく変化しております。昨年 4 月の診療報酬の改定

も地域医療構想の策定を見据えて急性期のベッドの削減を目指しているようですし、在宅医療へのシフトを誘導するような仕組みが着々と進んでいます。

国の地域医療構想では病院を高度急性期、急性期、回復期、慢性期の 4 つに分類し、病院ごとに病床を報告する制度を開始しました。今後の人口動態の変化に対応した機能分化を病院に求めて、それにあったベッド数に調整しようとしています。北河内二次医療圏の現状では急性期の病床がやや多く、回復期が全く不足しているというデータが出ていますが、急性期のベッドを減らしてしまうと、今後増加するであろう高齢者の救急患者を受け入れることが出来なくなる可能性が高く、今後相当しっかりとした検討が必要とされます。

新病院は平成 28 年 8 月 1 日から駐車場の運用を開始致しました。枚方市の方針もあって有料化することになり、患者様にはご負担をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。現在駐輪場や植栽の工事に入っており、平成 28 年 12 月末までにはすべての工事が完了して、平成 29 年 1 月にグランドオープンの予定です。これまで本当に多くの方のご協力によってやっとここまでこられたことを改めて感謝し、今後も安心して安全なところのかよう医療を提供して信頼される病院を目指したいと考えます。



災害発生時の円滑な救急医療のために

# 災害医療訓練を実施しました

平成 28 年 10 月 1 日(土) 枚方市災害医療対策会議との共催で、災害医療訓練を行いました。

今回の訓練は、重症度等で治療の優先順位を判断する「トリアージ」に特化して実施しました。

第 1 部では講義を行った後に、症例に基づいたトリアージを行うとともに、トリアージタグに記入する訓練を実際に行いました。



第 2 部では、患者の受付、トリアージタグの記入や伝達、集計、記録などの模擬訓練を行いました。

市域で震度 6 強を観測し、電気・ガス・水道・電話がストップした状況を想定。市の災害医療センターである市立ひらかた病院と、市内の災害協力病院である枚方公済病院、星ヶ丘医療センター、佐藤病院、有澤総合病院、吉田病院の医師や看護師、医療技術職などでトリアージチームを編成して 30 人の模擬傷病者に対応しました。



第 3 部では、模擬訓練の様子や集計結果をもとに講評が行われました。また、模擬訓練時に担当した役割ごとに気付いた点や反省点等を発表。実際の災害時における課題等を共有しました。

訓練には他に、枚方寝屋川消防組合、歯科医師会、薬剤師会、楠葉病院からも参加。参加者は医師 28 人、看護師 49 人を含む 135 人でした。

新病院になってから 3 回目の訓練でしたが、意識の高まりを感じるとともに、新たな課題の発見にもつながり、非常に有意義な訓練となりました。



# 日曜日の乳がん検査を実施

当院は認定 NPO 法人 J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)が  
推進するジャパン・マンモグラフィー・サンデー賛同医療機関です。

ジャパン・マンモグラフィー・サンデーは子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に病院に行けない女性の皆様が、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、毎年 10 月第 3 日曜日に乳がん検診マンモグラフィー検査を受診できる環境づくりへの取り組みです。

当院でも平成 28 年 10 月 16 日(日)にマンモグラフィー検査を実施して、50 名が受診されました。

ご記入いただいたアンケートでは、受診理由として 31 名の方が「日曜だから」と回答されており、日曜日の検査実施が検査受診につながったものと思われます。



受付

平成29年  
2月19日は  
市立ひらかた病院で  
日曜日に  
乳がん検査を  
受けられる日です

事前予約が必要です。  
受付時間：9:00~12:00 人数：50名 女性技師対応  
対象者：40才以上の方  
検査内容：マンモグラフィー+視触診  
マンモグラフィー+乳腺エコー+視触診  
検査費用：①マンモグラフィー+視触診 9,870円  
②マンモグラフィー+乳腺エコー+視触診 13,650円  
③枚方市乳がん検診対象者 1,000円  
④枚方市乳がん検診 クーポン対象者 無料  
その他：③枚方市乳がん検診対象者：40歳以上の女性で和暦偶数年(但しH27年1月以降に受診歴の無い和暦奇数年の方は保健センターで特例受診券が発行されれば対象です)

予約・問い合わせ 市立ひらかた病院  
☎072(847)2821(代表)  
FAX072(849)2174  
(平日午前8時30分~午後4時30分)

次回は平成29年2月19日(日)に実施します。

## 第4回 市民公開講座を開催しました

平成 28 年 11 月 26 日(土)午後 2 時から市立ひらかた病院 2 階講堂にて市民公開講座を開催しました。

講師の泌尿器科 和辻利和医師により、膀胱がんはもちろん、腫瘍全般についてや腎臓などを含めた尿路のしくみ等も説明し、60 名の方にご参加いただきました。

講演では、内視鏡(膀胱鏡)や CT、MRI などの動画・画像も多く使用されており、視覚的にも理解しやすい内容でした。



覚えていただきたいこととして「痛みを伴わない血尿が 1 回でも出れば泌尿器科で検査を」「早期発見できればほとんどの場合怖くないし、それほど痛い検査も無い」と和辻医師より話がありました。

メモを取りながら熱心に講演を聞かれる参加者の姿も印象的でした。講演後には多くの方が和辻医師のもとへ質問に来られ、充実した市民公開講座となりました。



# 正面玄関近辺の工事の進捗状況

平成28年8月より、新駐車場とロータリーの運用を開始しました。それに伴い、出入口は市道渚中宮線に面する病院の北東部分となっています。

自動車 179 台、中・大型バイク 18 台、原付バイク 26 台の収容が可能で、ロータリー横には車椅子利用者用駐車場 4 台分を備えています。24 時間 365 日ご利用可能です。



平成 29 年 1 月のグランドオープンに向けて工事が進められました。

来院される患者様、周辺にお住いの皆様や周辺道路をご通行の皆様には、工事に伴い大変ご迷惑をおかけしました。ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。



## 駐車料金のご案内

### 駐車料金のご案内



駐車経過時間		0分～30分	～	5時間30分	～
外来受診者等	自動車 50cc超えバイク	無料		200円	以降30分毎に100円を加算 当日(0時～24時)最大600円
	50cc以下の原付				当日限り1回 200円
	自転車				当日限り1回 100円
駐車経過時間		0分～30分	～		
お見舞いの方を含む一般利用者	自動車	無料		1時間当たり 300円	夜間・早朝(21時～7時) 1時間当たり100円
				土日・祝日の当日(0時～24時)最大 600円	平日の当日(0時～24時)最大 1200円

※ 一般利用者の50cc超えバイク・原付バイク・自転車は、外来受診者等の駐車料金と同額です。

## 編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は熊本地震を始めとして、多くの自然災害が各地域に大きな被害をもたらしました。市立ひらかた病院は枚方市の地域防災計画において災害医療センターに指定さ

れています。紙面にもありますように、昨年10月には災害医療訓練を実施しました。参加者の表情は真剣そのもの。災害時の医療機関としての役割を改めて認識しました。